

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

米国会計基準(US GAAP)

2026年1月

野村ホールディングス株式会社

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 安定収益の推移(P4)
- 2026年3月期決算の概要(P5)
- セグメント情報(P6)
- ウェルス・マネジメント部門(P7-9)
- インベストメント・マネジメント部門(P10-11)
- ホールセール部門 (P12-14)
- バンキング部門(P15)
- 金融費用以外の費用(P16)
- 強固な財務基盤を維持(P17)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P19)
- バリュース・アット・リスク(P20)
- 連結決算概要(P21)
- 連結損益(P22)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P23)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P24)
- セグメント「その他」(P25)
- ウェルス・マネジメント部門関連データ(P26-29)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P30-31)
- ホールセール部門関連データ(P32)
- 人員数(P33)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2026年3月期第3四半期の決算ハイライト

■ ROE¹は10.3%と7四半期連続で8~10%+の目標を達成

- 収益: 5,518億円(前四半期比7%増)、税前利益: 1,352億円(同1%減)、当期純利益²: 916億円(同1%減)、EPS³: 30.19円、ROE¹: 10.3%
- 4セグメントは堅調、その他セグメントはデジタル・アセット関連事業で市況悪化の影響を受け損失を計上

■ 4セグメントの税前利益⁴1,429億円(前四半期比8%増)は、2007年4-6月期⁵以来、18年半ぶりの高水準

■ ウェルス・マネジメント部門:

- 2020年3月期に包括的な資産管理サービスを本格展開して以降、ストック収入・フロー収入等は過去最高を更新。ストック資産の純増額は5,000億円超の水準
- 前四半期比で約30%の増益を達成。税前利益率は40%を上回る高水準

■ インベストメント・マネジメント部門:

- 2025年12月1日にマッコーリー・グループのパブリック・アセットマネジメント事業の買収を完了。運用資産残高は134.7兆円へ大幅に増加。事業収益は部門設立以降で最高
- 一方、投資損益の減収、買収に伴う一時費用の計上に伴い減益

■ ホールセール部門:

- グローバル・マーケットは、エクイティが前四半期に続き過去最高収益⁶を更新
- インベストメント・バンキングは全地域で増収。日本のECM案件の回復等もあり、過去最高収益⁶を計上

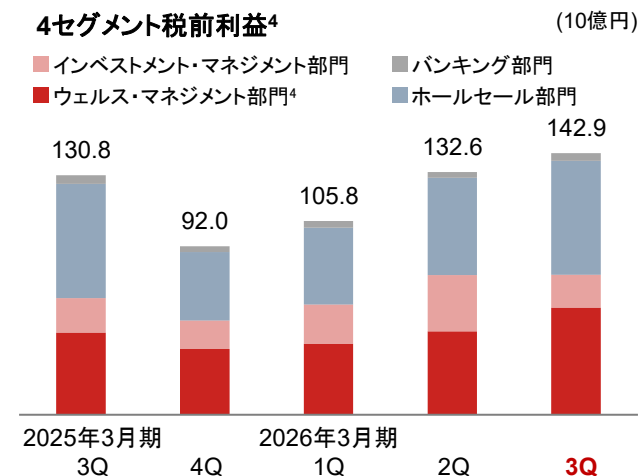
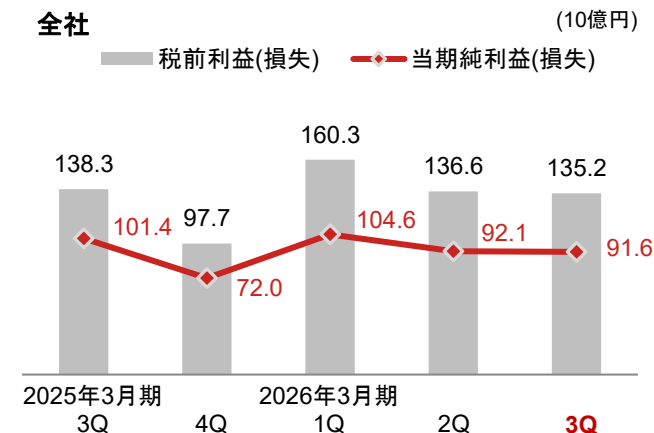
■ バンキング部門:

- 堅調に推移。ローン実行は順調に推移。投資信託は新規設定の取り込みやマーケット要因から拡大

■ 株主還元 ~ 自己株式取得を決議

- 取得株式総額: 上限1億株
- 取得価額総額: 上限600億円
- 期間: 2026年2月17日~9月30日

税前利益、当期純利益²の推移



1. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2. 当社株主に帰属する当期純利益

3. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

4. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遡及修正

5. 2007年4-6月とはセグメント区分が一部異なる

6. 比較可能な2017年3月期以降

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

2026年3月期第1-3四半期累計の決算ハイライト

- 税前利益:4,321億円(前年同期比15%増)、当期純利益¹:2,882億円(前年同期比7%増)、EPS²:94.67円、ROE³:10.8%
 - 主要4セグメントが好調 ～収益基盤の質的向上と成長を両立
- 4セグメント合計の税前利益は3,813億円(前年同期比10%増)
 - ウェルス・マネジメント部門:税前利益は高水準。前年同期比で、**ストック収入費用カバー率は8ポイント上昇し71%、業績安定化が加速**
 - インベストメント・マネジメント部門:戦略買収に伴う先行コストの影響等で減益も、**既存事業のオーガニックな成長とあわせ事業基盤を着実に拡大**
 - ホールセール部門:**税前利益は前年同期比22%増**。すべてのビジネスラインが高水準で推移し、**全社業績を大きく牽引**
 - バンキング部門:来年度の預金スイーブ導入に向けたシステム更新に伴う償却費負担により減益も、**ローンや投信受託残高は順調に拡大**

	2025年3月期 第1-3四半期 累計	2026年3月期 第1-3四半期 累計	前年同期比
収益(金融費用控除後)	1兆4,398億円	1兆5,905億円	10%
税前利益	3,742億円	4,321億円	15%
当期純利益 ¹	2,688億円	2,882億円	7%
EPS ²	87.66円	94.67円	8%
ROE ³	10.4%	10.8%	

税前利益:セグメント情報⁴

	2025年3月期 第1-3四半期 累計	2026年3月期 第1-3四半期 累計	前年同期比
ウェルス・マネジメント部門	1,303億円	1,428億円	10%
インベストメント・マネジメント部門	741億円	702億円	-5%
ホールセール部門	1,288億円	1,573億円	22%
バンキング部門	133億円	110億円	-18%
4セグメント合計	3,464億円	3,813億円	10%
その他	292億円	466億円	60%
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-14億円	43億円	-
税前利益合計	3,742億円	4,321億円	15%

1. 当社株主に帰属する当期純利益
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
4. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遡及修正

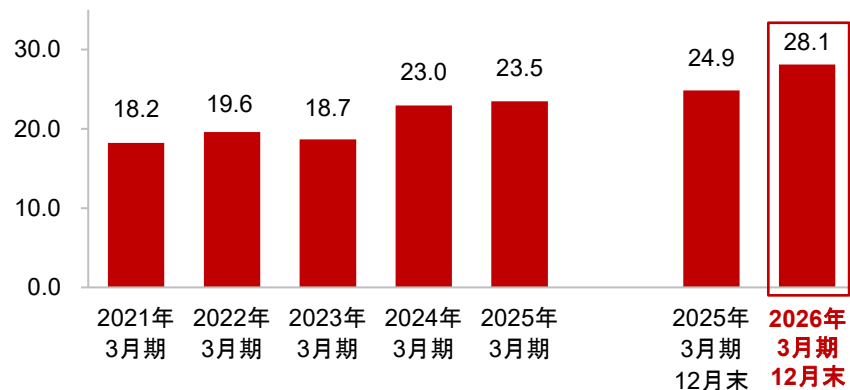
安定収益の推移: ストック型ビジネスの積み上げにより、成長に向けた基盤を拡大

インフローを伴い、ストック資産および運用資産残高は増加

ウェルス・マネジメント部門 (WM部門)

(兆円)

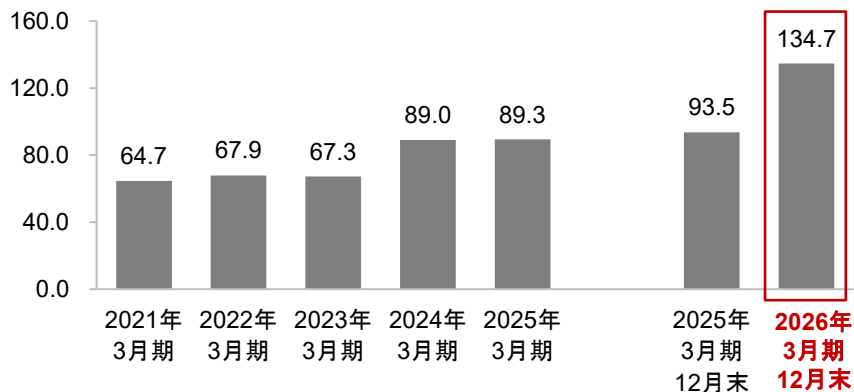
ストック資産



インベストメント・マネジメント部門 (IM部門)

(兆円)

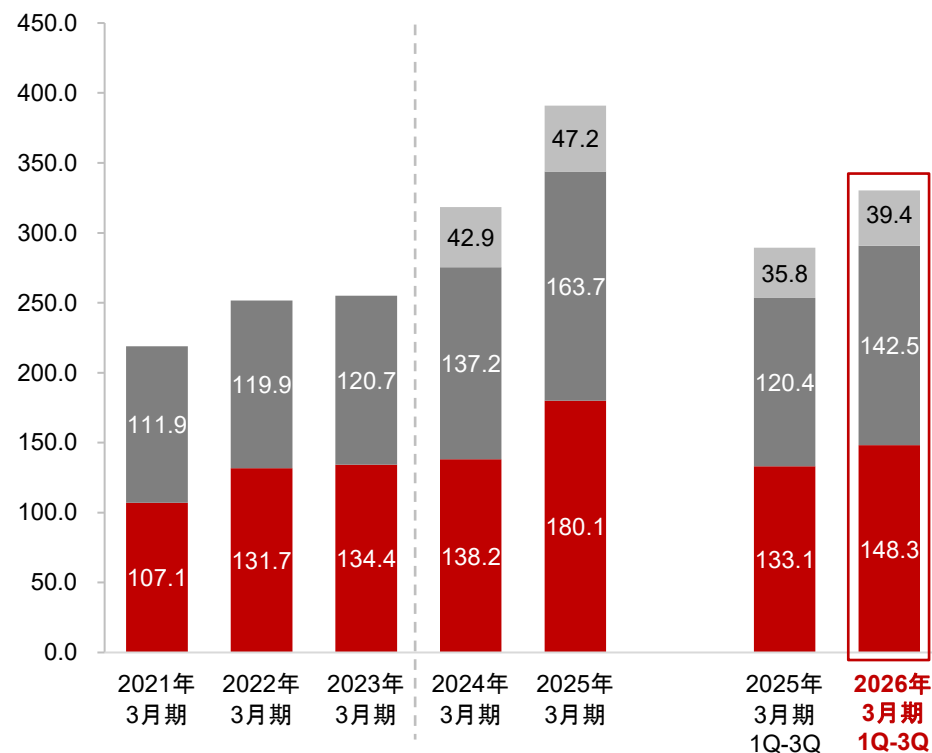
運用資産残高



安定収益¹は着実に拡大²

(10億円)

■ WM部門 ストック収入 ■ IM部門 事業収益 ■ バンキング部門 収益



1. ウェルス・マネジメント部門のストック収入、インベストメント・マネジメント部門の事業収益、バンキング部門の収益の合計値

2. バンキング部門の収益の一部は従来、ウェルス・マネジメント部門のストック収入に含まれていたが、2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2026年3月期第1四半期以降、区分して開示。2024年3月期および2025年3月期の数値については遡及修正を行ったが、それ以前の会計年度については遡及修正は行っていない

2026年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS、BPS、ROEを除く)

	2025年3月期		2026年3月期			前四半期比	前年同期比	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q			1Q-3Q累計	1Q-3Q累計	
収益合計(金融費用控除後)	502.0	452.7	523.3	515.5	551.8	7%	10%	1,439.8	1,590.5	10%
金融費用以外の費用	363.7	355.0	363.0	378.8	416.5	10%	15%	1,065.5	1,158.4	9%
税前利益	138.3	97.7	160.3	136.6	135.2	-1%	-2%	374.2	432.1	15%
当期純利益 ¹	101.4	72.0	104.6	92.1	91.6	-1%	-10%	268.8	288.2	7%
実効税率	24.7%	24.3%	32.9%	29.9%	30.1%			27.0%	31.1%	
EPS ²	33.08円	23.39円	34.04円	30.49円	30.19	-1%	-9%	87.66円	94.67円	8%
BPS ³	1,207.81円	1,174.10円	1,177.31円	1,188.05円	1,244.72円	5%	3%	1,207.81円	1,244.72円	3%
ROE ⁴	11.8%	8.2%	12.0%	10.6%	10.3%			10.4%	10.8%	
(参考)										
海外拠点税前利益 ^{5,6}	51.8	28.5	27.5	44.9	16.3	-64%	-69%	108.5	88.6	-18%

1. 当社株主に帰属する当期純利益 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益 3. 一株当たり株主資本 4. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
5. 米州、欧州、アジア・オセアニア(インドのボワイ・オフィスを含む) 6. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント情報

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)		2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q			1Q-3Q累計	1Q-3Q累計	
収益	ウェルス・マネジメント部門 ¹	111.6	99.9	105.8	116.5	132.5	14%	19%	333.6	354.8	6%
	インベストメント・マネジメント部門	45.7	43.0	50.6	60.8	60.9	0%	33%	149.5	172.3	15%
	ホールセール部門	290.5	259.2	261.1	279.2	313.9	12%	8%	798.8	854.2	7%
	バンキング部門 ¹	12.3	11.4	12.8	12.9	13.7	7%	12%	35.8	39.4	10%
	4セグメント合計 ¹	460.1	413.5	430.3	469.3	521.0	11%	13%	1,317.6	1,420.6	8%
	その他(※) ¹	41.2	39.4	93.2	44.4	28.1	-37%	-32%	123.5	165.6	34%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	0.6	-0.2	-0.1	1.8	2.7	51%	3.3x	-1.4	4.3	-
収益合計(金融費用控除後)		502.0	452.7	523.3	515.5	551.8	7%	10%	1,439.8	1,590.5	10%
税前利益 (損失)	ウェルス・マネジメント部門 ¹	44.8	35.9	38.8	45.5	58.5	29%	31%	130.3	142.8	10%
	インベストメント・マネジメント部門	18.9	15.5	21.5	30.7	17.9	-42%	-5%	74.1	70.2	-5%
	ホールセール部門	62.4	37.5	41.9	53.1	62.3	17%	0%	128.8	157.3	22%
	バンキング部門 ¹	4.7	3.1	3.6	3.2	4.2	31%	-10%	13.3	11.0	-18%
	4セグメント合計 ¹	130.8	92.0	105.8	132.6	142.9	8%	9%	346.4	381.3	10%
	その他(※) ¹	6.9	5.9	54.6	2.3	-10.3	-	-	29.2	46.6	60%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	0.6	-0.2	-0.1	1.8	2.7	51%	3.3x	-1.4	4.3	-
税前利益(損失) 合計		138.3	97.7	160.3	136.6	135.2	-1%	-2%	374.2	432.1	15%

※ 2026年3月期第3四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する損失(-10億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(-6億円)

ウェルス・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	111.6	99.9	105.8	116.5	132.5	14%	19%
金融費用以外の費用	66.8	64.0	67.0	71.0	74.0	4%	11%
税前利益	44.8	35.9	38.8	45.5	58.5	29%	31%

収益の内訳¹

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
■ フロー収入等							
■ ストック収入							
ストック収入 ^{1,2}	45.7	47.0	44.5	51.2	52.7	3%	15%
フロー収入等 ³	65.9	52.9	61.3	65.3	79.8	22%	21%
収益合計(金融費用控除後) ¹	111.6	99.9	105.8	116.5	132.5	14%	19%

決算のポイント

収益: 1,325億円 (前四半期比14%増、前年同期比19%増)
 税前利益: 585億円 (前四半期比29%増、前年同期比31%増)

- 税前利益は前四半期をさらに上回り、約30%増
 - ストック資産が大幅純増となり、ストック収入の着実な積み上げに貢献
 - 顧客アクティビティの拡大がフロー収入を押し上げ、業績をけん引
 - 費用増を抑制、税前利益率は40%を上回る高水準
 - ストック収入費用カバー率⁴は71%に達し、業績安定化が加速

ストック収入

- ストック資産の純増額は過去最高 (+5,039億円) ～前四半期に引き続き主要マーケットが高水準にあるなか、資産管理ビジネスが一段と進展
- ストック収入も過去最高 ～半期ごとに収受する投資助言報酬の剥落を、幅広い商品における収益の伸長で吸収

フロー収入等

- フロー収入等は前四半期比22%増 ～株式や投資信託を中心に顧客アクティビティが一段と活発化

資産拡大項目	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q
投信純増 ⁵	+1,768億円	+3,693億円
投資一任純増 ⁵	+652億円	+1,043億円
現金本券差引 ⁶	+7,444億円	-4,606億円

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を選及修正

2. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベリフィー等)

4. 直近4四半期累計のストック収入を金融費用以外の費用で除したもの

5. 法人課を除く

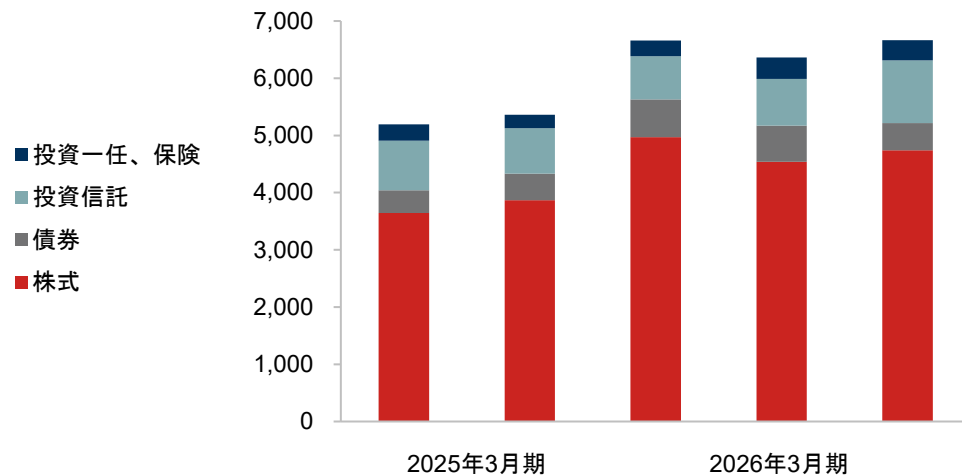
3. 取引に付随して発生する収入(ブローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等

6. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

ウェルス・マネジメント部門: 長期分散投資を前提とした資産の買付がさらに伸長

総募集買付額¹

(10億円)



	2025年3月期		2026年3月期		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
株式	3,644.4	3,870.6	4,967.5	4,539.9	4,741.3
債券	399.8	462.7	660.6	633.4	473.4
投資信託	863.4	791.0	754.7	815.2	1,095.1
投資一任	174.4	149.5	140.2	187.0	221.0
保険	109.4	87.1	137.3	185.5	132.7
総募集買付額 ¹	5,191.4	5,360.9	6,660.3	6,361.0	6,663.4

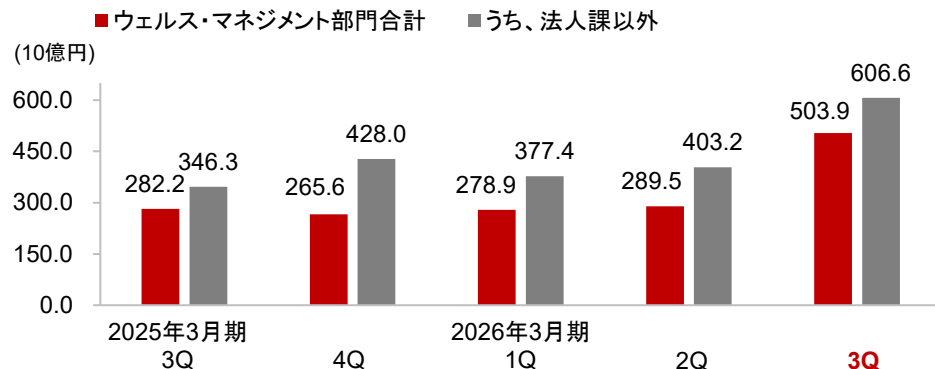
総募集買付額¹は6兆6,634億円 前四半期比5%増
幅広い商品において高水準の買付けが継続

- 株式: 前四半期比4%増
 - 大型プライマリー案件の貢献に加え、マーケットの調整局面を捉えたセカンダリー取引の増加により国内株式が伸長
- 債券販売額: 前四半期比25%減
 - 円金利の上昇等を背景に国内債の需要は堅調、販売額は前期比横ばい
 - 前四半期のプライマリー案件の剥落により、外債販売額は減少
- 投資信託: 前四半期比34%増
 - 長期分散投資ニーズは引き続き底堅く、新規募集商品や成長株関連ファンドを中心に資金が流入
- 投資一任契約: 前四半期比18%増
 - 質の高いサービス提供によりSMAの契約額が大きく伸長
- 保険販売額: 前四半期比28%減
 - 前四半期比では減少も、相続対策ニーズに対応した保険商品の販売額が引き続き高水準

ウェルス・マネジメント部門: KPIサマリー

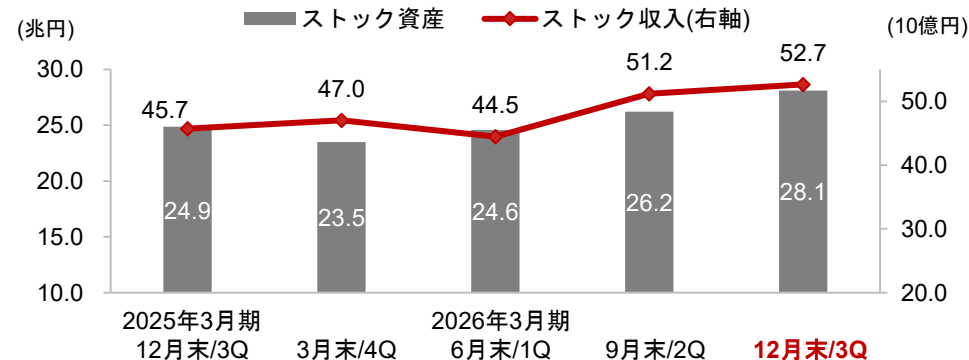
ストック資産純増¹

■ 15四半期連続の純増。部門合計、法人課以外ともに過去最高



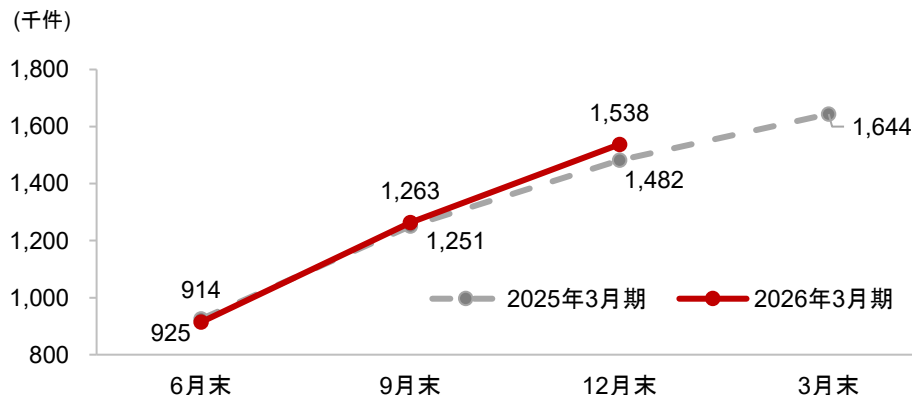
ストック資産およびストック収入^{2, 3}

■ 高水準のストック資産純増と好調なマーケット環境を受け、期末ストック資産・ストック収入はともに過去最高を更新



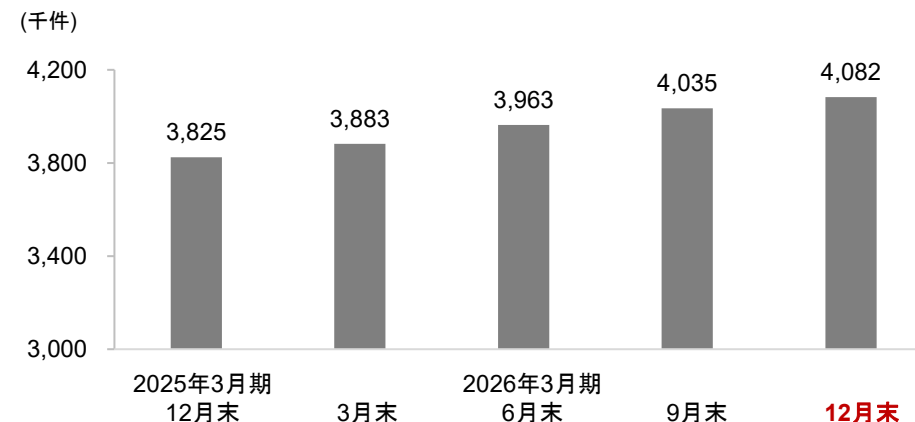
フロービジネス顧客数

■ 12月末時点において過去最高水準で推移



ワークプレイスサービス提供数

■ 持株会関連を中心に順調に伸長し、堅調に推移



1. 投信分配金による純減を含まず、レベルフィー等口座内の投信純増を控除した数値
 2. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)
 3. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遡及修正

インベストメント・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	45.7	43.0	50.6	60.8	60.9	0.1%	33%
金融費用以外の費用	26.8	27.5	29.0	30.1	43.0	43%	60%
税前利益	18.9	15.5	21.5	30.7	17.9	-42%	-5%

収益の内訳

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
事業収益 ^{1,2}	42.0	43.3	40.6	44.1	57.8	31%	38%
投資損益 ³	3.7	-0.2	9.9	16.8	3.1	-82%	-18%
収益合計(金融費用控除後)	45.7	43.0	50.6	60.8	60.9	0.1%	33%

1. 2026年3月期第1四半期より野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティングの損益を含む。2025年12月1日よりマッコーリー・グループからのパブリック・アセットマネジメント事業による損益を含む
 2. アセットマネジメント事業、航空機リース関連事業の収益およびプライベート・アセット等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
 3. アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益、プライベート・アセット等の投資事業および投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成
 4. 買収完了(2025年12月1日)以降2026年3月期第3四半期末まで

決算のポイント

収益: 609億円 (前四半期比0.1%増、前年同期比33%増)

税前利益: 179億円 (前四半期比42%減、前年同期比5%減)

- 2021年4月の部門設立以降で事業収益は最高
 - 市場要因およびマッコーリー・グループからの事業買収完了により運用資産残高も134.7兆円と過去最高
- 買収事業に帰属する経費や無形固定資産償却費⁴および一時的な買収関連費用の計上に伴い、費用が増加

事業収益

■ 収益: 578億円 (前四半期比31%増、前年同期比38%増)

- アセットマネジメント・ビジネスは引き続き堅調 ~ 運用報酬は過去最高を更新、成功報酬も増加
- 11四半期連続の資金純流入を達成
- 航空機リースを手掛ける野村バブcockアンドブラウンは前四半期から増収

投資損益

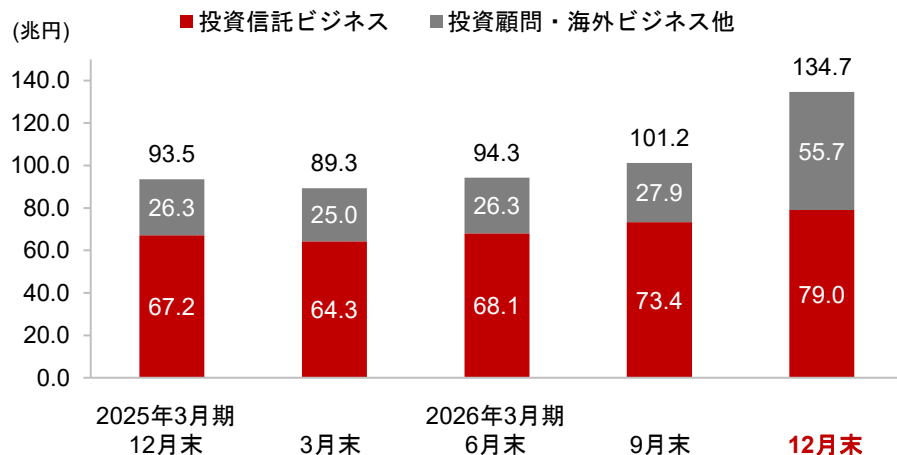
■ 収益: 31億円 (前年同期比82%減、前年同期比18%減)

- アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益が収益に貢献するも、前四半期比では減少
- 野村キャピタル・パートナーズ投資先企業に係る売却益の剥落により、前四半期から減収

インベストメント・マネジメント部門:

運用資産残高はオルタナティブ資産を含め過去最高を継続

運用資産残高(ネット)¹



運用資産残高は12月1日に買収が完了したマッコーリー・グループ対象事業が貢献

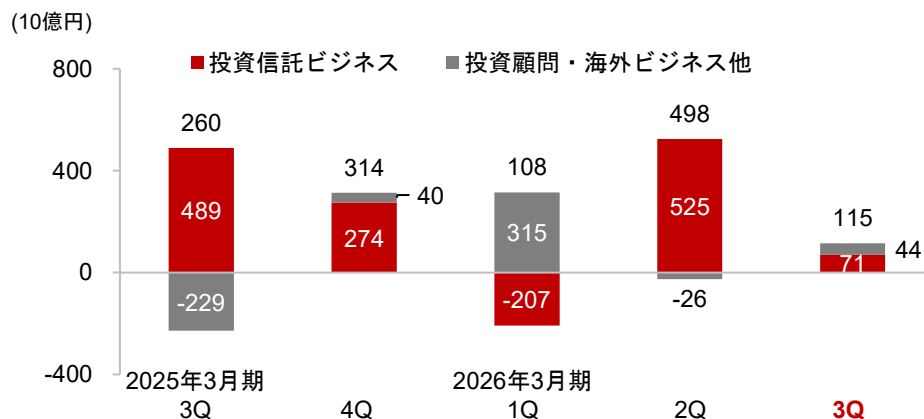
国内投資信託ビジネス

- 投信(ETF、MRF等除く)、MRF等に入流もETFは流出
 - 投信(ETF、MRF等除く): 新規設定の日本株アクティブやプライベート・アセット、バランス型に資金が流入
 - ETF: 株式市場の上昇で取引は活発も流出超

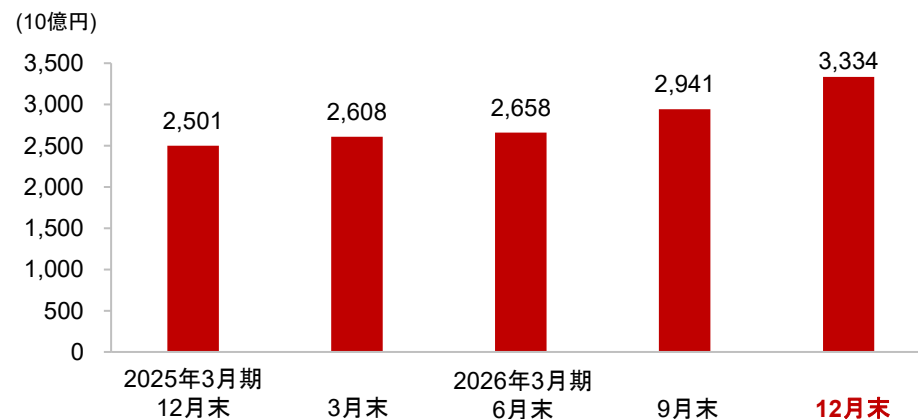
国内投資顧問及び海外ビジネス他

- 国内は、円債を中心に資金が流入
- 海外は、米国ハイ・イールド債や買収対象事業から資金が流出も、日本株等を中心に流入

資金純流入²



オルタナティブ運用資産残高³は資金純流入を伴い過去最高を更新



1. 運用資産残高(ネット)は、インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの
 2. 運用資産残高(ネット)に基づく
 3. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高およびその他インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社のプライベート・アセット等の運用資産残高の合計

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	290.5	259.2	261.1	279.2	313.9	12%	8%
金融費用以外の費用	228.2	221.7	219.2	226.0	251.6	11%	10%
税前利益	62.4	37.5	41.9	53.1	62.3	17%	-0.1%
経費率	79%	86%	84%	81%	80%		
収益/調整リスク・アセット ¹	8.2%	7.3%	6.9%	7.1%	7.8%		

ビジネスライン別の収益

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
グローバル・マーケット	239.0	206.9	223.1	235.7	256.8	9%	7%
インベストメント・バンキング	51.5	52.3	37.9	43.5	57.1	31%	11%
収益合計(金融費用控除後)	290.5	259.2	261.1	279.2	313.9	12%	8%

決算のポイント

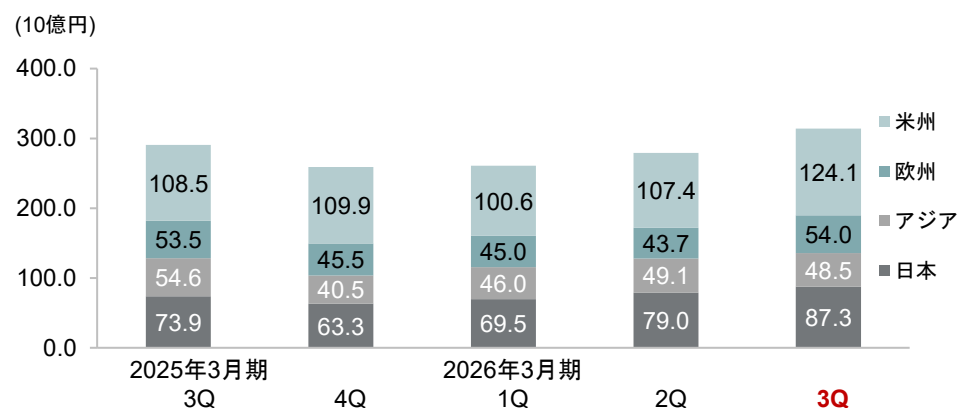
収益: 3,139億円 (前四半期比12%増、前年同期比8%増)

税前利益: 623億円 (前四半期比17%増、前年同期比0.1%減)

■ 前四半期からの好調な業績トレンドを維持し、増収増益

- グローバル・マーケットはエクイティが過去最高収益を更新²
- インベストメント・バンキングは全ての地域で増収、過去最高収益を更新²
- 地域別では、日本の収益が過去最高²。米州では金利プロダクト、エクイティ・プロダクトが好調で増収

地域別収益



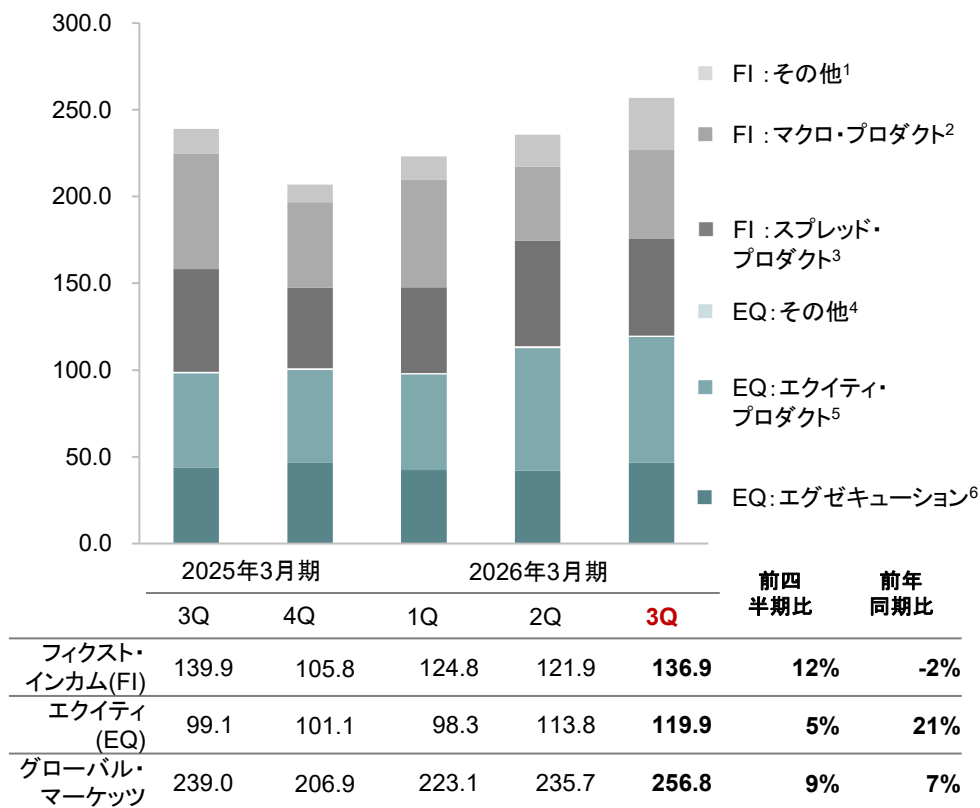
1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したもの。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼルⅢ規制のリスク・アセットと、(2)バーゼルⅢ規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計。なお、2026年3月期1Qより、バーゼルⅢ最終化後ベース

2. 比較可能な2017年3月期以降

ホールセール部門: グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



決算のポイント

収益: 2,568億円 (前四半期比9%増、前年同期比7%増)

- フィクスト・インカムは、金利プロダクトや為替/エマージングが伸長
- エクイティは過去最高収益を更新⁷ ~エグゼキューションが牽引、エクイティ・プロダクトが過去最高収益⁷

フィクスト・インカム

- 収益: 1,369億円 (前四半期比12%増、前年同期比2%減)
 - マクロ・プロダクト: 金利プロダクトは顧客アクティビティの増加を受けて米州と日本が増収。為替/エマージングは欧州が増収となった他、アジアが前四半期から回復
 - スプレッド・プロダクト: クレジットは投資家の様子見姿勢によりアジアが減収。証券化商品は米州中心に高水準を維持

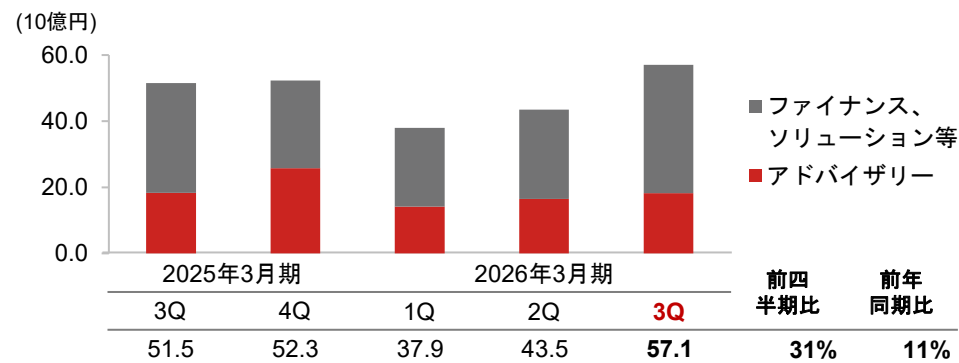
エクイティ

- 収益: 1,199億円 (前四半期比5%増、前年同期比21%増)
 - エクイティ・プロダクト: 顧客フローの増加を背景に、デリバティブが好調だった米州が大幅増収
 - エグゼキューション: プライマリー案件の貢献もあり、日本が大幅増収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益
 2. 金利プロダクト、為替/エマージング
 3. クレジット、証券化商品
 4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益
 5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス
 6. 株式執行ビジネス
 7. 比較可能な2017年3月期以降

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

収益: 571億円 (前四半期比31%増、前年同期比11%増)

- 比較可能な2017年3月期以降、四半期ベースで最高収益を達成
- 日本では活発なコーポレート・アクションが継続。ECMの回復も寄与し、日本の収益は過去最高を記録
- 海外ではM&AやALF等を中心に好調、全ての地域において前四半期比で増収

アドバイザリー

- 国内はMBOや非公開化、クロスボーダー案件等を多数執行し、好調なモメンタムを維持
- 海外は欧州やアジアを中心に、注力セクターの案件を含め複数関与し、増収に寄与

ファイナンス、ソリューション等¹

- ECMは国内を中心に大型のIPO、PO案件に複数関与。自己株式取得や政策保有株の売却ニーズを捉えたソリューション関連も増収に寄与
- DCMは国内において引き続き高水準を継続

代表的な案件

アドバイザリー

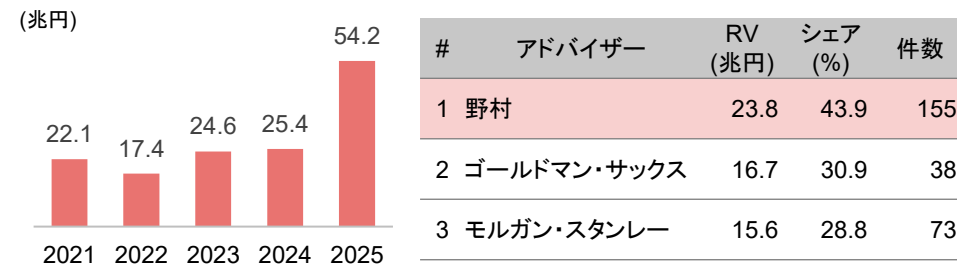
- 住友商事によるSCSKの非公開化 (8,818億円)
- サッポロホールディングスによるサッポロ不動産開発のKKRとPAGへの売却 (5,047億円)
- Gutsche Family Investmentsを含む株主によるCoca-Cola Beverages South AfricaのCoca-Cola HBC (スイス)への売却 (\$3.7bn)
- アサヒグループによるDiageo KenyaおよびUDV (Kenya)の一部持分のDiageo (英)からの取得 (合計: \$3.0bn)
- JFEによるBhushan Power & Steel (印)の一部持分のJSW Steel (印)からの取得 (INR 157bn (\$1.8bn))
- BlackstoneによるFederal Bank (印)のマイノリティ持分の取得 (INR 61bn (\$706mn))
- Vauban Infrastructure Partners によるTowerlink (仏)のCellnex (西)からの取得 (€391mn)
- ソニーグループによるソニーフィナンシャルグループのスピノフ (1兆388億円) (3Q以前に公表、2025年10月完了)

ファイナンス、ソリューション等

- SBI新生銀行: IPO (3,702億円)
- 豊田合成: PO (1,151億円)
- Medline(米): IPO (\$7.2bn)
- ソフトバンクグループ: リテール債 (5,000億円) / 米ドル建てハイブリッド債 (\$2.0bn)

倍増した日本M&A市場と野村のプレゼンス

日本関連M&A取引金額² (暦年ベース) 日本関連M&Aリーグテーブル² (2025年暦年)



1. ECM、DCM、買収/レバレッジド・ファイナンス(ALF)、グローバル・マーケットとの共管ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない損益

2. 出所: LSEG (2026年1月27日時点)、RV: Rank Value

バンキング部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

(10億円)	2025年3月期		2026年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	12.3	11.4	12.8	12.9	13.7	7%	12%
金融費用以外の費用	7.6	8.4	9.2	9.7	9.5	-2%	25%
税前利益	4.7	3.1	3.6	3.2	4.2	31%	-10%

決算のポイント

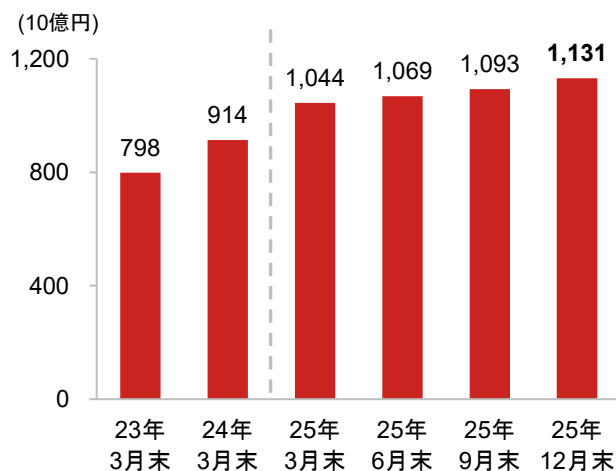
収益: 137億円 (前四半期比7%増、前年同期比12%増)

税前利益: 42億円 (前四半期比31%増、前年同期比10%減)

- 収益は堅調に推移。ローン実行は順調に増加。投資信託は、新規設定の取り込みやマーケット要因から拡大
- システム更改に伴う減価償却費は前四半期と同水準であるも、租税公課等の減少により、費用が減少
- 2027年3月期導入予定の預金スweepに向けた準備は予定通り進捗中

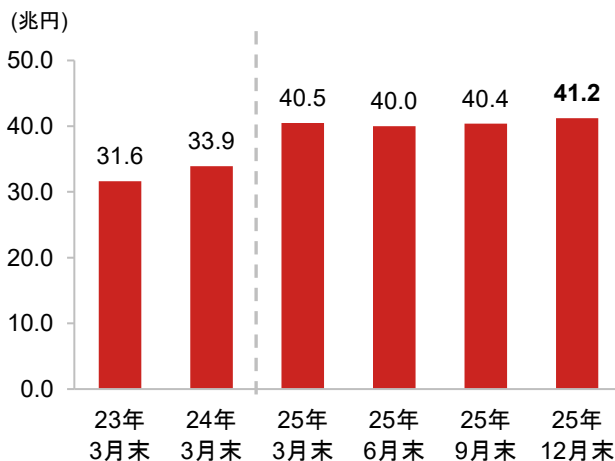
ローン残高(野村信託銀行)

- 広告戦略が奏功し野村Webローンの実行が増え、残高が順調に増加。PBローン²も順調に増加



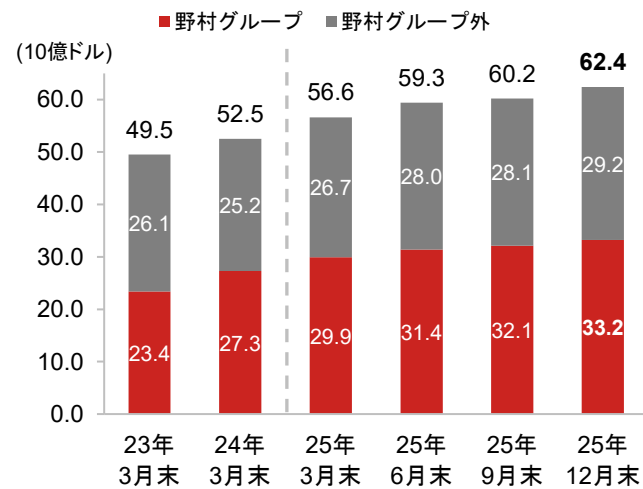
投信受託残高(野村信託銀行)³

- 委託会社の開拓や新規設定の取り込み、マーケットの追い風もあり、残高は拡大



管理資産残高(Nomura Bank Luxembourg)

- プライベートアセットに投資する公募・私募のファンドへの資金流入が加速

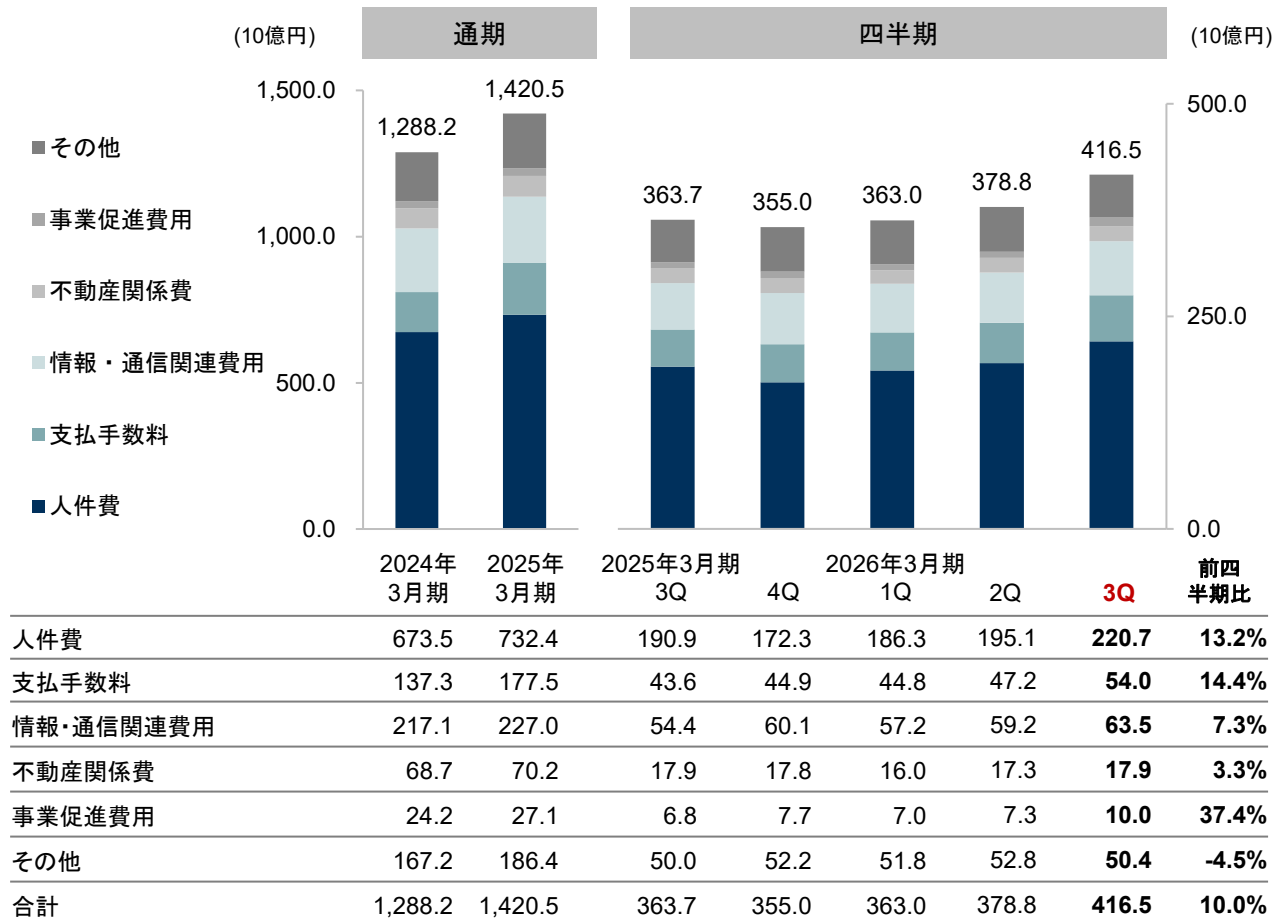


1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を適及修正

2. PBローンはPrivate Bankingローンの略

3. 投資信託受託残高(野村信託銀行)は、各信託の直近決算時の資産額を合計したもの

金融費用以外の費用



決算のポイント

金融費用以外の費用: 4,165億円
(前四半期比10%増)

- 人件費 (前四半期比13%増)
 - 業績に応じた賞与引当や、マッコーリー・グループの事業買収に伴う経常費用および一時費用の増加
- 支払手数料 (前四半期比14%増)
 - 取引量の増加に伴う支払手数料の増加
- 情報・通信関連費用 (前四半期比7%増)
 - ITサービスの契約や更新等に伴う増加
- 事業促進費用 (前四半期比37%増)
 - 広告宣伝費等の増加

強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

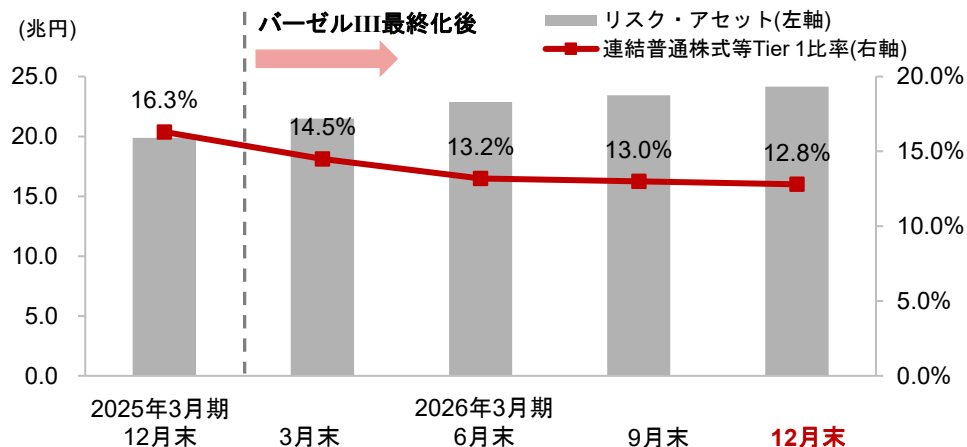
	2025年 3月末	2025年 9月末	2025年 12月末
資産合計	56.8兆円	60.4兆円	61.9兆円
当社株主資本	3.5兆円	3.5兆円	3.7兆円
グロス・レバレッジ	16.4倍	17.3倍	17.0倍
調整後レバレッジ ¹	11.0倍	12.2倍	11.9倍
レベル3資産(デリバティブ負債相殺後) ²	1.3兆円	1.4兆円	1.4兆円
流動性ポートフォリオ	10.2兆円	10.9兆円	10.8兆円

(10億円)

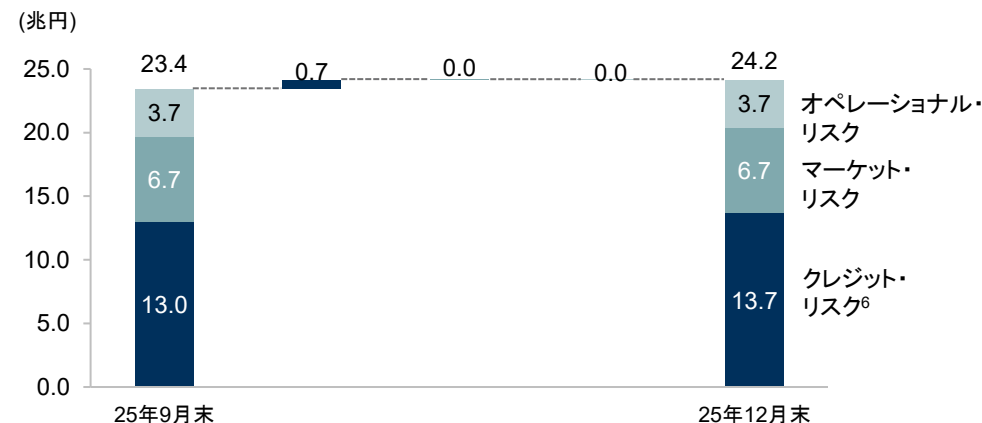
バーゼル3ベース	2025年 3月末	2025年 9月末	2025年 12月末 ²
Tier 1資本	3,500	3,574	3,637
Tier 2資本	0.6	135.2	187.6
総自己資本の額	3,500	3,709	3,825
リスク・アセット	21,497	23,439	24,155
連結普通株式等Tier 1比率 ³	14.5%	13.0%	12.8%
連結Tier 1比率	16.2%	15.2%	15.0%
連結総自己資本規制比率	16.2%	15.8%	15.8%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.16%	4.94%	4.91%
適格流動資産(HQLA) ⁵	7.2兆円	7.7兆円	8.0兆円
連結流動性カバレッジ比率(LCR) ⁵	234.1%	216.5%	212.9%
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	28.1%	26.6%	26.8%
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	9.9%	9.7%	9.8%

1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売却条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 2. 2025年12月末のHQLA、LCRは確定数値。それ以外は暫定数値
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier 1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したもの
 5. 四半期の日次平均の値
 6. クレジット・リスクにはCVAを含む

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



リスク・アセットの変動²



NOMURA

Financial Supplement



バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2025年 3月末	2025年 12月末	前期比 増減		2025年 3月末	2025年 12月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	5,515	5,997	482	短期借入	1,117	1,315	197
				支払債務および受入預金	7,249	8,460	1,211
貸付金および受取債権	7,449	8,239	790	担保付調達	18,646	17,944	-702
				トレーディング負債	11,379	13,875	2,496
担保付契約	18,664	18,626	-37	その他の負債	1,457	1,631	174
				長期借入	13,374	14,897	1,523
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹	22,524	25,728	3,204	負債合計	53,221	58,121	4,899
その他の資産 ¹	2,651	3,345	694	資本			
				当社株主資本合計	3,471	3,652	181
				非支配持分	110	163	53
資産合計	56,802	61,935	5,133	負債および資本合計	56,802	61,935	5,133

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼区間 : 95%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

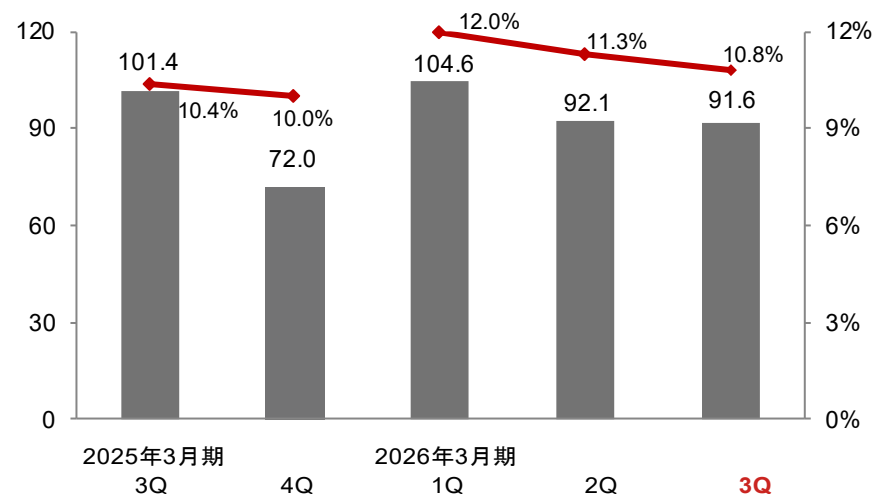
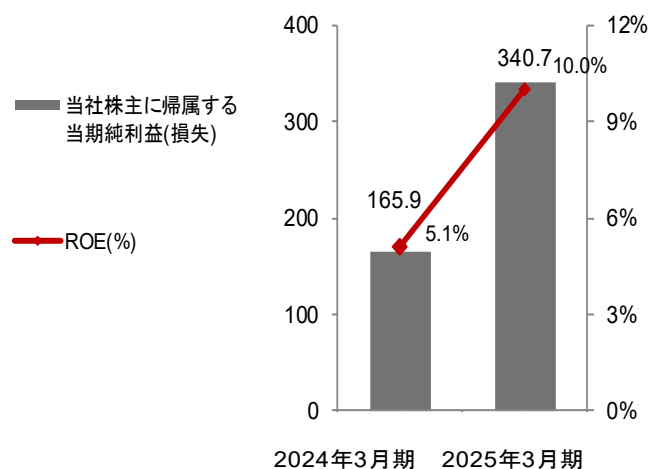
- 期間 : 2025.4.1~2025.12.31
- 最大 : 6.6
- 最小 : 3.1
- 平均 : 4.6

(10億円)

	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 12月末	2025年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末
株式関連	3.3	2.0	3.3	2.0	3.2	3.6	4.8
金利関連	2.6	2.1	2.4	2.1	2.2	2.2	2.6
為替関連	2.1	1.5	1.7	1.5	1.6	1.5	1.3
小計	8.0	5.6	7.4	5.6	7.0	7.3	8.7
分散効果	-2.5	-1.8	-2.3	-1.8	-2.5	-2.4	-2.5
連結VaR	5.5	3.8	5.1	3.8	4.5	4.9	6.2

連結決算概要

(10億円)



収益合計(金融費用控除後)	1,562.0	1,892.5
税引前当期純利益(損失)	273.9	472.0
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	165.9	340.7
当社株主資本合計	3,350.2	3,470.9
ROE(%) ¹	5.1%	10.0%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	54.97	115.30
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	52.69	111.03
1株当たり株主資本(円)	1,127.72	1,174.10

502.0	452.7	523.3	515.5	551.8
138.3	97.7	160.3	136.6	135.2
101.4	72.0	104.6	92.1	91.6
3,569.9	3,470.9	3,476.0	3,485.3	3,651.8
10.4%	10.0%	12.0%	11.3%	10.8%
34.32	24.35	35.19	31.34	31.21
33.08	23.39	34.04	30.49	30.19
1,207.81	1,174.10	1,177.31	1,188.05	1,244.72

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q
収益							
委託・投信募集手数料	364.1	407.0	102.6	100.3	100.6	105.0	119.2
投資銀行業務手数料	173.3	212.2	64.4	53.3	38.4	44.6	59.0
アセットマネジメント業務手数料	310.2	378.2	97.2	96.8	92.9	102.5	122.7
トレーディング損益	491.6	580.1	142.0	158.4	142.2	171.9	190.7
プライベートエクイティ・デット投資 関連損益	11.9	7.6	1.6	1.2	6.3	4.4	1.6
金融収益	2,620.9	2,927.9	745.5	630.9	649.6	652.8	712.5
投資持分証券関連損益	9.6	0.4	1.6	-0.1	-0.4	4.4	4.5
その他	175.8	223.3	43.0	38.5	127.0	75.6	17.8
収益合計	4,157.3	4,736.7	1,197.9	1,079.4	1,156.6	1,161.2	1,227.9
金融費用	2,595.3	2,844.3	696.0	626.6	633.3	645.8	676.2
収益合計(金融費用控除後)	1,562.0	1,892.5	502.0	452.7	523.3	515.5	551.8
金融費用以外の費用	1,288.2	1,420.5	363.7	355.0	363.0	378.8	416.5
税引前当期純利益(損失)	273.9	472.0	138.3	97.7	160.3	136.6	135.2
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	165.9	340.7	101.4	72.0	104.6	92.1	91.6

連結決算: 主な収益の内訳

(10億円)

		2024年 3月期	2025年 3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	242.7	264.5	66.3	66.3	62.8	67.2	79.9
	委託手数料-株式以外	15.6	17.5	4.4	4.7	4.7	4.5	3.3
	投信募集手数料	56.2	66.1	17.3	14.0	14.3	14.3	20.9
	その他手数料	49.5	58.9	14.6	15.3	18.7	19.1	15.1
	合計	364.1	407.0	102.6	100.3	100.6	105.0	119.2
投資銀行業務手数料	株式	45.5	52.9	17.6	8.6	3.6	5.0	15.1
	債券	27.5	48.4	14.9	13.2	13.8	11.4	10.8
	M&A・財務コンサルティングフィー	61.6	78.7	22.0	24.7	15.6	19.7	24.2
	その他	38.8	32.2	9.8	6.7	5.4	8.4	8.9
	合計	173.3	212.2	64.4	53.3	38.4	44.6	59.0
アセットマネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	193.5	235.9	61.0	60.8	58.3	64.5	81.6
	アセット残高報酬	88.2	109.1	27.8	27.6	26.3	29.0	31.8
	カストディアルフィー	28.5	33.2	8.4	8.5	8.2	9.0	9.3
	合計	310.2	378.2	97.2	96.8	92.9	102.5	122.7

連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)

(10億円)	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q
ウェルス・マネジメント部門 ¹	119.0	166.2	44.8	35.9	38.8	45.5	58.5
インベストメント・マネジメント部門	60.2	89.6	18.9	15.5	21.5	30.7	17.9
ホールセール部門	53.9	166.3	62.4	37.5	41.9	53.1	62.3
バンキング部門 ¹	15.1	16.4	4.7	3.1	3.6	3.2	4.2
4セグメント合計税前利益 ¹	248.2	438.4	130.8	92.0	105.8	132.6	142.9
その他 ¹	36.0	35.1	6.9	5.9	54.6	2.3	-10.3
セグメント合計税前利益	284.2	473.5	137.7	97.9	160.4	134.9	132.6
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	-10.3	-1.5	0.6	-0.2	-0.1	1.8	2.7
税前利益(損失)	273.9	472.0	138.3	97.7	160.3	136.6	135.2

地域別情報: 税前利益(損失)²

(10億円)	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q
米 州	14.7	65.8	18.3	14.4	15.6	29.1	17.1
欧 州	-33.1	20.3	16.2	5.9	-7.0	0.4	-10.6
アジア・オセアニア	23.8	50.9	17.3	8.1	18.9	15.4	9.8
海外合計	5.4	137.0	51.8	28.5	27.5	44.9	16.3
日本	268.5	335.0	86.5	69.3	132.8	91.8	118.9
税前利益(損失)	273.9	472.0	138.3	97.7	160.3	136.6	135.2

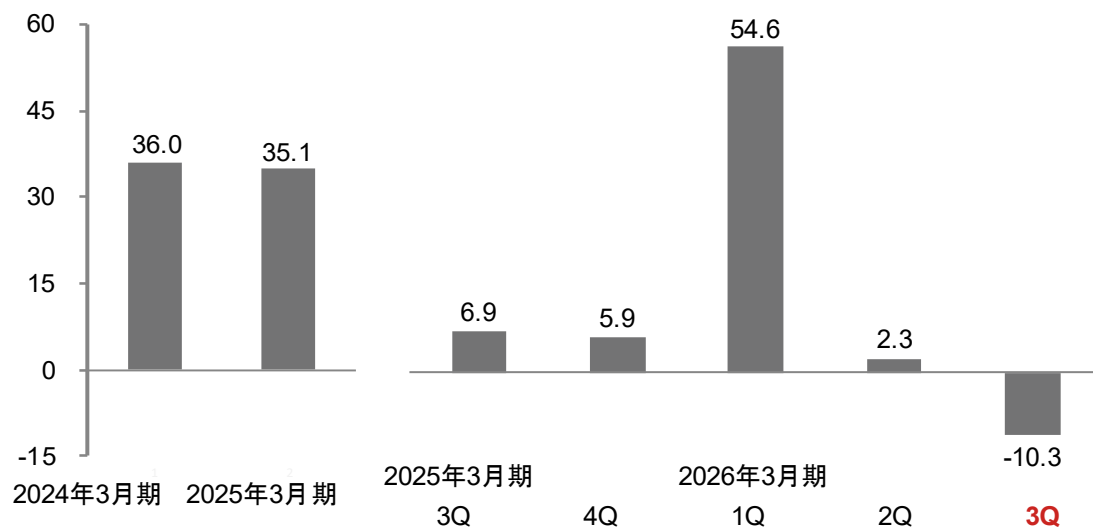
1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を選及修正

2. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)

(10億円)



	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	2025年3月期 4Q	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	2.0	-5.8	-7.0	2.2	1.1	-0.2	-1.0
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	21.0	1.5	0.6	0.3	0.0	2.2	1.1
関連会社損益の持分額	46.4	51.2	15.2	9.7	12.3	12.4	17.6
本社勘定	-12.0	-5.9	-1.0	-5.1	-11.6	-15.2	-9.6
その他 ¹	-21.5	-5.9	-1.0	-1.2	52.9	3.0	-18.5
税前利益(損失) ¹	36.0	35.1	6.9	5.9	54.6	2.3	-10.3

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正

ウェルス・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)

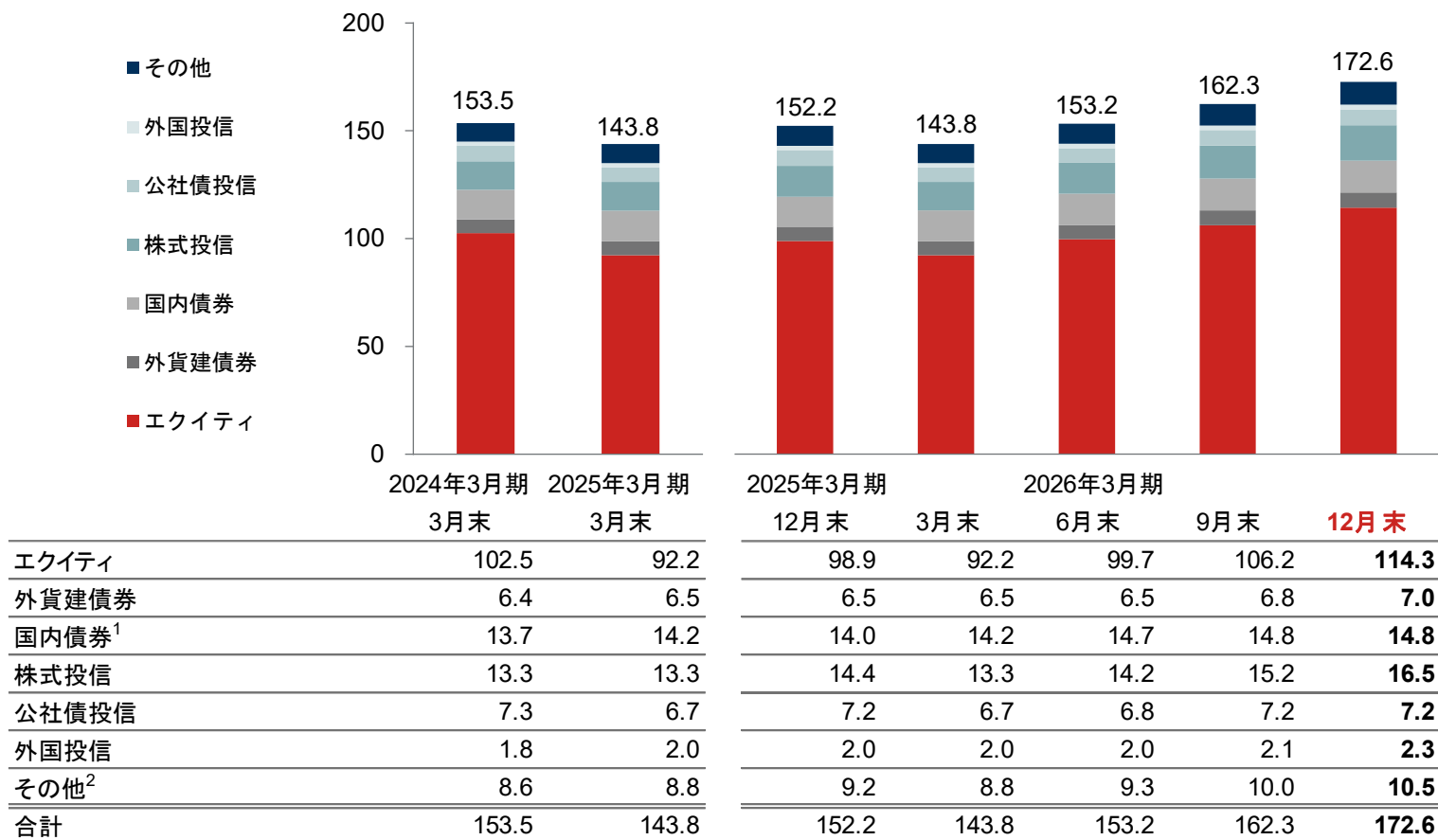
	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q	前四半期比	前年同期比
委託・投信募集手数料	173.5	183.6	47.1	43.3	46.2	52.1	58.7	12.8%	24.7%
うち株式委託手数料	80.2	72.2	18.1	17.4	18.3	22.7	24.7	9.1%	36.8%
うち投資信託募集手数料	54.9	65.9	17.3	14.3	14.2	14.3	20.8	45.6%	20.2%
販売報酬	55.9	52.5	11.5	10.8	11.6	12.6	13.1	4.1%	14.1%
投資銀行業務手数料等	23.1	27.3	8.7	3.7	5.2	3.9	8.8	122.1%	1.0%
投資信託残高報酬等	124.4	156.7	40.1	40.2	38.7	42.9	46.4	8.3%	15.9%
純金融収益等 ¹	10.1	13.4	4.3	1.9	4.0	5.0	5.4	9.0%	27.4%
収益合計(金融費用控除後) ¹	387.0	433.6	111.6	99.9	105.8	116.5	132.5	13.7%	18.7%
金融費用以外の費用 ¹	268.0	267.4	66.8	64.0	67.0	71.0	74.0	4.3%	10.8%
税前利益 ¹	119.0	166.2	44.8	35.9	38.8	45.5	58.5	28.5%	30.5%
国内投信販売金額	3,271.8	3,882.8	942.0	838.3	827.1	854.6	1,178.9	37.9%	25.1%
株式投信	2,525.9	3,107.2	719.5	712.3	724.1	708.5	984.0	38.9%	36.8%
外国投信	745.9	775.6	222.5	126.0	102.9	146.0	194.3	33.1%	-12.7%
その他									
個人向け国債販売額 (約定ベース)	398.9	317.9	89.0	76.8	82.0	33.5	80.8	141.4%	-9.2%

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正

ウェルス・マネジメント部門関連データ(2)

ウェルス・マネジメント部門顧客資産残高

(兆円)



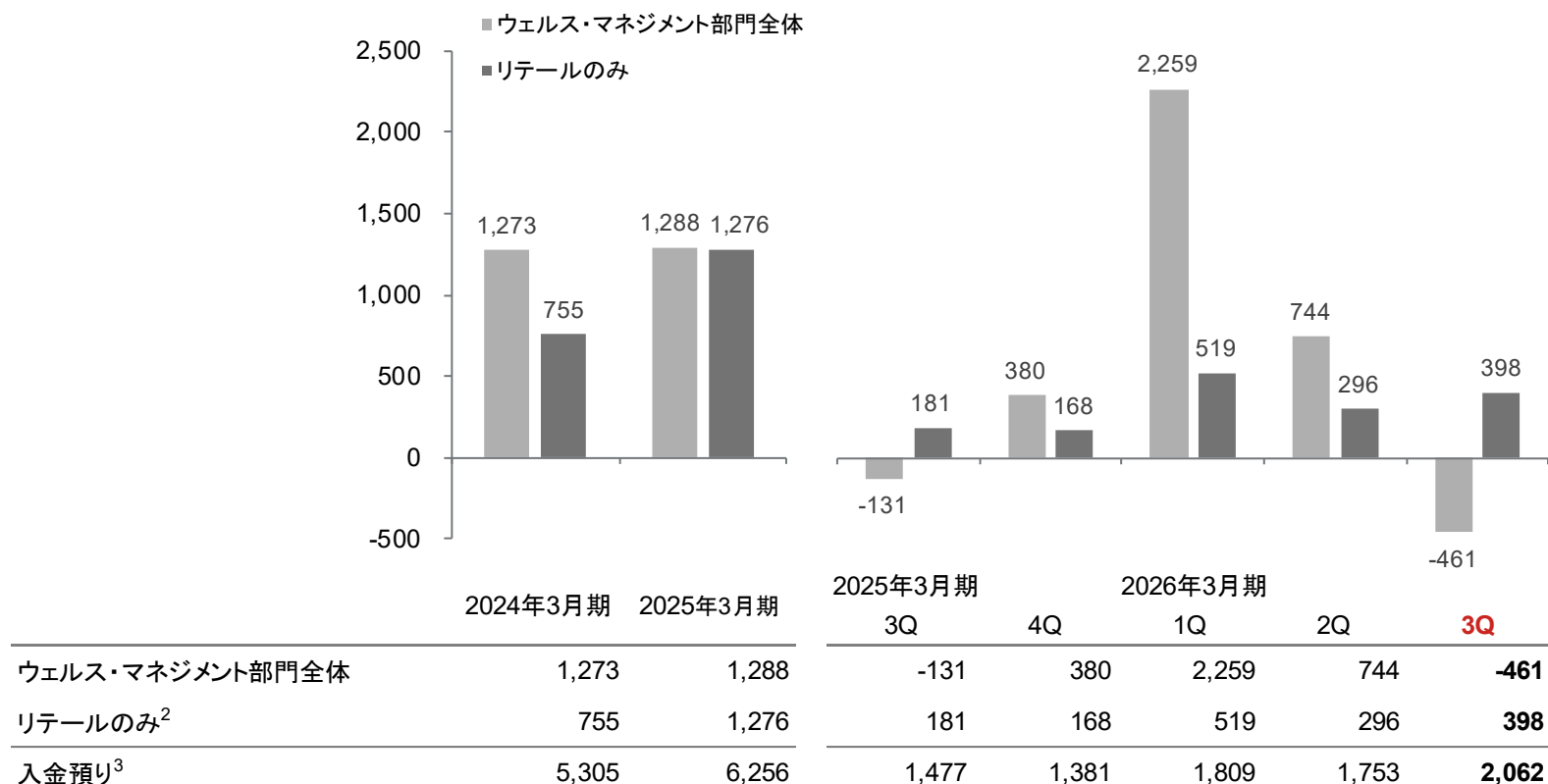
1. CB・ワラントを含む

2. 年金保険契約資産残高を含む

ウェルス・マネジメント部門関連データ(3)

現金本券差引¹

(10億円)



1. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

2. リテールは、ウェルス・マネジメント部門全体の金額から、法人課、プライベート・ウェルス・マネジメントグループ及びワークプレイス・サービスを除いて算定。2025年3月期1Qから集計範囲を変更したことから、2024年3月期の数字を遡及修正

3. リテールのみ対象。2025年3月期1Qから集計範囲を変更したことから、2024年3月期の数字を遡及修正

ウェルス・マネジメント部門関連データ(4)

口座数

(千口座)

	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末
残あり顧客口座数	5,496	5,934	5,925	5,934	5,965	5,998	6,075
株式保有口座数	2,972	3,285	3,275	3,285	3,292	3,292	3,301
NISA開設口座数 ¹	1,780	1,779	1,771	1,779	1,800	1,816	1,877
オンラインサービス口座数	5,582	5,974	5,881	5,974	6,053	6,140	6,278

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	2025年3月期 4Q	2026年3月期 1Q	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q
個人新規開設口座数	334	372	99	109	103	103	113
IT比率 ²							
売買件数ベース	84%	85%	85%	87%	86%	85%	83%
売買金額ベース	59%	60%	59%	62%	59%	60%	58%

1. 2024年6月末時点の数値からジュニアNISA口座数を含まない

2. 現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q	前四 半期比	前年 同期比
事業収益	137.2	163.7	42.0	43.3	40.6	44.1	57.8	31.3%	37.8%
投資損益	16.9	28.8	3.7	-0.2	9.9	16.8	3.1	-81.7%	-17.9%
収益合計(金融費用控除後)	154.1	192.5	45.7	43.0	50.6	60.8	60.9	0.1%	33.2%
金融費用以外の費用	93.9	102.9	26.8	27.5	29.0	30.1	43.0	42.7%	60.5%
税前利益(損失)	60.2	89.6	18.9	15.5	21.5	30.7	17.9	-41.6%	-5.3%

運用資産残高-会社別¹

(兆円)

	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	6月末	9月末	12月末
野村アセットマネジメント	91.0	88.1	92.2	88.1	93.0	99.7	108.4
ノムラ・アセットマネジメント・ インターナショナル 他 ²	5.6	5.5	6.3	5.5	8.8	9.3	34.9
運用資産残高(グロス) ³	96.6	93.6	98.5	93.6	101.8	109.1	143.3
グループ会社間の重複資産	7.6	4.3	4.9	4.3	7.5	7.8	8.6
運用資産残高(ネット) ⁴	89.0	89.3	93.5	89.3	94.3	101.2	134.7

- 2024年4月1日付の米州の組織再編成に伴い、2025年3月期以降の野村アセットマネジメントの運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産から同額の運用資産残高が減少。2025年12月1日に買収が完了したマッコーリーグループのバブリック・アセットマネジメント事業の運用資産残高が含まれる
- 2025年4月1日付の野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティングのインベストメント・マネジメント部門への移管に伴い、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他の運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産において同額の運用資産残高が増加。野村グループの米国におけるインベストメント・マネジメント事業の中核会社であるNomura Capital ManagementおよびNomura Corporate Research and Asset Managementと買収事業を統合した組織「ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル」を新設
- インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)
- 運用資産残高(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門 資金流入－ビジネス別¹

(10億円)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q
国内投資信託ビジネス	1,845	2,113	489	274	-207	525	71
うちETF	473	987	-352	673	-667	77	-105
国内投資顧問・海外ビジネス他	1,915	536	-229	40	315	-26	44
資金流入 合計	3,760	2,648	260	314	108	498	115

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(兆円)

	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 12月末	3月末	2026年3月期 6月末	9月末	12月末
国内公募投信残高							
マーケット	227.0	236.3	246.0	236.3	254.3	276.8	301.6
野村アセットマネジメントシェア	26%	25%	25%	25%	25%	24%	24%
国内公募株式投信残高							
マーケット	211.0	221.5	230.3	221.5	239.0	260.4	284.7
野村アセットマネジメントシェア	25%	24%	24%	24%	23%	23%	23%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	16.0	14.8	15.7	14.8	15.3	16.4	16.9
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	45%	44%	44%	44%	43%
ETF残高							
マーケット	89.6	85.8	89.4	85.8	92.3	100.4	109.9
野村アセットマネジメントシェア	43%	44%	44%	44%	44%	44%	44%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入
2. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q	前四 半期比	前年 同期比
収益合計(金融費用控除後)	866.1	1,057.9	290.5	259.2	261.1	279.2	313.9	12.4%	8.0%
金融費用以外の費用	812.2	891.7	228.2	221.7	219.2	226.0	251.6	11.3%	10.3%
税前利益(損失)	53.9	166.3	62.4	37.5	41.9	53.1	62.3	17.2%	-0.1%

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)

	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 3Q	4Q	2026年3月期 1Q	2Q	3Q	前四 半期比	前年 同期比
フィクスト・インカム	420.3	499.2	139.9	105.8	124.8	121.9	136.9	12.3%	-2.1%
エクイティ	286.8	375.4	99.1	101.1	98.3	113.8	119.9	5.4%	21.0%
グローバル・マーケット	707.1	874.6	239.0	206.9	223.1	235.7	256.8	9.0%	7.5%
インベストメント・バンキング	159.0	183.3	51.5	52.3	37.9	43.5	57.1	31.3%	10.8%
収益合計(金融費用控除後)	866.1	1,057.9	290.5	259.2	261.1	279.2	313.9	12.4%	8.0%

人員数

	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 12月末	2025年3月期 3月末	2026年3月期 6月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末
日本	14,870	14,877	14,977	14,877	15,317	15,144	15,061
欧州	3,053	3,133	3,114	3,133	3,155	3,173	3,237
米州	2,440	2,417	2,433	2,417	2,476	2,450	3,030
アジア・オセアニア ¹	6,487	6,815	6,736	6,815	6,960	7,109	7,273
合計	26,850	27,242	27,260	27,242	27,908	27,876	28,601

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2026年3月期第3四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報（「将来予測」）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト（<https://www.nomura.com/jp/index.html>）、EDINET（<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/week0010.aspx>）または米国証券取引委員会（SEC）ウェブサイト（<https://www.sec.gov>）に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/